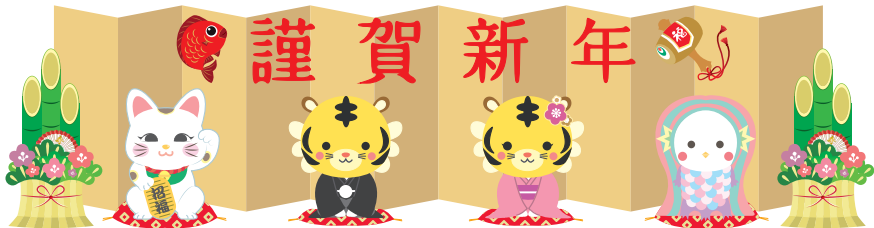


KSKQ 京橋 おかげさま 通心 22

正真会 『はたらく』きょうばし 2022年 加光『くらす』
就労移行支援事業所 1月 生活訓練施設



今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます
2022年の幕開け～新しい時の中で～

<p>事務/支援員 寺西 悠</p>	<p>「きょうばし」就労支援員 出口 奈々恵</p>	<p>「加光」生活支援員 赤嶺 英俊</p>
<p>事務/支援員 仁井 久美子</p>	<p>「きょうばし」就労支援員 田中 涼子</p>	<p>「加光」生活支援員 荻田 拓也</p>
<p>事務/支援員 上野 理恵子</p>	<p>「きょうばし」職業指導員 古川 理恵</p>	<p>「加光」生活支援員 唐仁原 光季</p>
<p>事務/支援員 青木 奈緒美</p>	<p>「きょうばし」職業指導員 林田 有佳理</p>	<p>「きょうばし」職業指導員 平野 翔子</p>

新年あけましておめでとうございます。旧年中は沢山の皆さまに多大なるご支援を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。今年の抱負「不退転」について少しお話いたします。この言葉のルーツは仏教用語にあり、「仏道修行において、すでに到達した境地から後戻りしないこと」「退くことなく常に善行を行い、修行すること」という意味です。転じて「自分で決めたことを覆さないこと、信念を持って屈しないこと」という強い言葉として、現代では横綱昇進時の口上などで使われています。



**不退転の心
おわりはじまり**
強き心と温かき心
管理者 寺村 肇

私がこの言葉を今年の抱負に定めたのは、「何事にもひるまず、ひた向きに前へ進む」という気持ちからです。昨年は色々な意味で自分たちの実状や力の限界(おわり)といったものを意識するシーンと何度か出会いました。その都度、迷い揺らいだことで皆さまには多大なご迷惑をおかけしたと反省しています。その反面、全てのことは有限であることをハッキリ自覚する機会を得させて頂いたとも言え、今この瞬間を大事にしようという気持ちが強くなり、目の前の人と何かを生み出そうというエネルギー(おはじまり)にも繋がりました。

また、不退転には別の2つの意味があると言います。「揺るぎない信念を持って何事にも屈せず」という強固な意味が半分、もう半分はそのルーツにある「たとえ鬼に迫られても全く揺るがない幸福を求める心」という温かな意味だそうです。自分たちが掲げた理念のもとに沢山の同志が続々と集ってくれています。その中心にある私たちは「不退転の心」を持って出来る全てに挑戦していきます。本年もご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

正真会の “オモロイ関係” が生まれるまで

時間をかけりゃできるんやな

工房はんど 安野 壽氏
<https://kobohand.raku-uru.jp/>

安野さんと初めてお会いした時、工房はんどさんは2年目に突入していた時期でした。この安野さんとの出会いのシーンは、今もはっきり覚えています。直観的に「この人オモロイ！」とピンと閃いて、そこから色々なコラボ企画を一気に仕掛けていきました(笑) 正真会に対して本当に様々な閃きを投げかけて下さる方です。そのような安野さんとは色々なお話をしてまいりましたが、出会った当手を振り返ってお話を聞くと、そこには誠に多くの葛藤や失意があった事が分かりました。

「自分にはそれなりのネットワークがあると思っただけなんですけど、DMやパンフレット、あらゆることをやっても一切反応が無くって」と語る安野さん。「もう無理だ、終わろう」「自分はこの先、どんな人生を送るんだろうか」と失意に打ちひしがれていた安野さんですが、それでも種はずっと蒔き続けた結果、のちに利用者様となられる方が相談に訪れたそうです。そうして一歩を踏み出されて、「こういう事をやっている」という話が障がいのあるお様がられる、ご両親様のネットワークに繋がっていき、「テキストスタイル・布プリント手法」の着想と発見に行き着き、現在の広がりに至りました。

安野さん自身、このような展開は予想していなかったという事で、障がいのある方でも現在の手法はほとんど全ての工程をお一人が担当しています。「どっかで、彼らにはできへんと思っていた自分が恥ずかしい。時間かけりゃできるんやなという事がはっきりわかった」と。そのような安野さんの自戒の言葉が強く印象に残りました。

正真会のロゴやチラシデザインなど、数々の名作を生み出してくれている「工房はんど」のアーティストたちも含めて、“オモロイ関係”をこれからもよろしくお願ひします!

正真会 正真会はSDGsの項目で次の持続可能な開発目標を掲げています

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 8 働きがいも経済成長も

法人理念

誰もが人として暮らし、人としての喜びを感じられる社会を創造します。
人の歩みを共に喜び、共に学び続けます。

■編集人■(毎月発行)
〒534-0024 大阪市都島区東野田町5-5-16
京橋おかげさま通心 編集委員会
電話 06-6351-8668

■制作・協力■
NPO法人 チャレンジステージ
HP: www.challesta.com

■発行人■
関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階

地域がつながるプロジェクト

ひとりひとりのしめ縄 ～意味も学べた素敵な機会に

「わ」プロジェクトの名前を彷彿とさせるイベント、「しめ縄をつくろう」が12月18日に開催されました。参加者12名、色々な世代が交わって個性のあるひとりひとりの作品が生まれ、お正月やしめ縄の意味などを学べる素敵な機会となりました。ご参加いただいた皆様、そしてこの度もご協力を賜りました講師の梅木 大輔様、有り難うございました!

株式会社ポムスタイル様
<https://salon-de-pomme.com/>

～リンパ専門店～
Pomme サロン・ド・ポム

企業見学会

就労移行支援事業所
きょうばし

1月

◆新年・新時代に向けて弊社の社紋入りロゴを制作しました。本稿はそちらのテーマで執筆を終えたのですが、寄稿直前あまりにも悲痛な事件が飛び込んでまいりまして、急遽内容を更にする事に致しました。25名もの尊い命が奪われた、西梅田・心療内科の大火災事件です。受診された方の多くは、これまで障がいやこ病氣と対峙しながら生き辛さや困難を抱えてこられ、それでも前向きに生きよう、社会参加しよう、働こうと努力をされてこられた、その最中の出来事ではないかと……さぞかし無念であったでしょう。被害に遭われた皆様、ご家族様に、衷心より深く哀悼の意を表します。私たちは改めて強靱で揺るがない覚悟を持たねばならないと、そう感じています。社会の痛みが人の痛みにつながる現実としつかり向き合い、此度の悲劇を必ず未来に繋げていきます。そして、健全な社会の実現を目指し、同志と共に立ち向かい続ける所存です。

チャレステコラム

西梅田・心療内科の
大火災事件
覚悟と共に

◆新年・新時代に向けて弊社の社紋入りロゴを制作しました。本稿はそちらのテーマで執筆を終えたのですが、寄稿直前あまりにも悲痛な事件が飛び込んでまいりまして、急遽内容を更にする事に致しました。25名もの尊い命が奪われた、西梅田・心療内科の大火災事件です。受診された方の多くは、これまで障がいやこ病氣と対峙しながら生き辛さや困難を抱えてこられ、それでも前向きに生きよう、社会参加しよう、働こうと努力をされてこられた、その最中の出来事ではないかと……さぞかし無念であったでしょう。被害に遭われた皆様、ご家族様に、衷心より深く哀悼の意を表します。私たちは改めて強靱で揺るがない覚悟を持たねばならないと、そう感じています。社会の痛みが人の痛みにつながる現実としつかり向き合い、此度の悲劇を必ず未来に繋げていきます。そして、健全な社会の実現を目指し、同志と共に立ち向かい続ける所存です。

NPO法人
チャレンジステージ
代表理事
山下 勇雄

大阪市中央区 清友監査法人 矢本公認会計士事務所 様

<https://www.seiyu.or.jp/>



企業見学会、ラストは全員で記念撮影

見学会では、矢本様の公認会計士のお話や今までの多岐に渡るご活動(環境万博・ラジオパーソナリティなど)のチャレンジを教えてください、確かな知識に基づく先を見据えた行動力に感銘を受けました。私も支援者として先見の明を持って、色々な可能性を見出せる支援者になりたいです。沢山の事を学ばせて頂く機会を貰い、心から感謝しております。

★次回開催★株式会社ポムスタイル <https://salon-de-pomme.com/>

「好きな事の挑戦を、頑張っている姿は必ず報われる」
 僕の経歴は、まず大阪星光学院ではバスケットボール部に所属して、その後、東京の一橋大学へ進学しました。そこから大学と専門学校を並行するダブルスクールで頑張った公認会計士になり、業界最大手の場所に就職出来ました。この時期に海外が好きだった事があり、ニュージランド語学研修に挑戦しています。
 10年前に親の事務所に戻りつつ、清友監査法人の経営に携わる一方で、本業以外でも複数の法人を立上げる挑戦にも漕ぎ出しました。また、僕自身の顧客としてバスケットボール協会がありまして、これは私が打ち込んでいたバスケットボールから繋がった御縁です。福岡でラジオパーソナリティを3年間していた事があります。これも挑戦ですね。
 そうやって自分の事を振り返ってみても、やっぱり、僕は仕事というのは好きな事の挑戦を続けるのが良いのかなと思います。好きな事なら、努力したり、挑戦したりする事が苦にならないですね。人生七転び八起き、なるべく失敗を積み重ねる事で前に失敗した事を反省して次に活かす、そういうスタイルが良いんじゃないかと思えます。そうやって頑張っていたら、必ず誰かが見てくれますから。僕は環境報告書の仕事や高校同窓会活動の結果、ミラノ万博に携わる機会を頂いたんですが、それも日頃から挑戦を続けている自分が評価されたと思っています。
 日本は伝統的に同調的な文化が強いので挑戦というの難しいかもしれませんが、時代も変わっていて、今は周りを気にする事なく自分の信じる道に打ち込めるようになってきていると思います。皆さんにも、ぜひ自分を信じて、突き抜けた挑戦をして頂ければと思います。

企業見学会

つね、会計の世界へ 専門知識と前向きな意欲

12月16日、株式会社アンシャントマンの松山社長からご紹介を頂きまして、矢本公認会計士事務所様からほど近い日本公認会計士協会近畿会様にて企業見学会を開催させて頂きました。矢本さんの朗らかな語り口調で生き生きとした雰囲気、矢本さんの専門分野である「お金」について学ぶ講座、そして「たこ焼きピザ」展開を想定したワークショップへと続きます。

お金に関する講座でまず語られたのが、同時代に活躍した画家、「極貧のゴッホ」と「大富豪のピカソ」の違いです。ピカソは自分の絵が完成するとパトリーを開き、画商に制作背景やストーリーリーを事細かに説明したそうです。このピカソの言葉が画商とパトリーを強烈に結びつけ、利益に繋がったと言います。この他、コロナ禍の株取引、エンターテイメントビ

ジネスなど、お金に関する幅広い時事・歴史などのお話を頂きました。「たこ焼きピザ」展開を想定したワークショップでは、たこ焼き屋を経営する際の仕入れ値・原価計算・売価計算・人件費・維持費などの基本を丁寧に教えて頂きました。皆さん、慣れない計算に苦心していましたが、その懸命な姿から興味深い新しい分野への積極的な挑戦姿勢が伺えました。

最後に、矢本さんが会計士になるまでのお話に及び、その誠実な向上心がひしひしと伝わってまいりました。「未知の世界をよく知る事が出来た」「頑張っているという事は必ず誰かが見てくれている」という言葉に感銘を受けた「今回の学びを訓練や就職に活かしたい」と、利用者さんにも前向きな意欲が芽生えていました。専門的な世界の道案内を詳しく優しく導いて頂き、沢山の学びを得られました。貴重な機会を頂きまして、誠に有難うございました。

「頑張っている姿は必ず評価される」「ピンチがチャンスになる事がある」といった広い視野を学ばせて頂きました。そうして学んだ広い視野を意識しながら、今後、更に働くことや気持ちについて伝え、皆さんにとって何らかのヒントになれるよう努力を続けようと思います。このような見学会の機会を作って頂き、誠にありがとうございました。

「好きな事の挑戦を、頑張っている姿は必ず報われる」
 清友監査法人 代表社員
 矢本公認会計士事務所
 代表 矢本浩教氏
<https://www.seiyu.or.jp/>

日常業務の中の『ちょっと良い話』

就職者のご報告

小さな、しかし力強い一歩

事務/支援員
★
仁井 久美子

とても嬉しい報告があります。きょうばしの事務部門から、新たに1名の就職者が生まれました。それはゴールではなく、小さな一歩に過ぎません。しかし確かな、力強い一歩であり、輝かしく新しいスタート地点なのです。就職の前日、同じ訓練に励む仲間たちに向けて最後の挨拶をされて、その光景を目にしながら胸にグッと迫るものがありました。約1年間、訓練する様子を毎日見てきた方を初めて送り出したので、寂しくもありません。続けて一歩を踏みしめながら、頑張っていくって欲しいと思います。

利用者さんの「就職を迎えた誰かをお祝いする気持ち」と「自分も早く就職を迎えたいと願う気持ち」の交差を感じました。その交差点で見守る仁井さんの気持ちも、また複雑かと思えます。送る側と、送られる側がいる風景。様々な想いが交差した一場面を垣間見させて貰いました。

★管理者★
寺村 肇

新生・正真会オープンキャンパス!

ミニ体験企画や声紋分析体験の充実!

「正真会オープンキャンパス」が新しくなりました。正真会の活動や各事業所説明&見学に加えて、訓練体験ができる「ミニ体験企画」や、自分の性格や個性がわかる「声紋分析体験」が新たに追加!その記念すべき第1回に総勢7名の方々に参加して頂きました。

「ミニ体験企画」では、名刺作成と検品を体験。一連の作業をそれぞれ実施する訳ですが、同じ作業でも人それぞれやり方に違いや個性が出て、大いに盛り上がりました。「声紋分析体験」では、特殊な機材を使ってその人の持つ個性・特性を明らかにしていきます。最初は半信半疑だった参加者も、グラフを見ながら「そうそう!私の性格って!」とお互いの個性を面白おかしく話し合いました。

この様に、きょうばしでは多彩な場面を想定したり、様々な方法を駆使したりと、多角的に就職を希望する方の個性や特性について深く学ぶことが出来ます。ぜひ、貴方も正真会オープンキャンパスに参加してみませんか? 沢山の申込みお待ちしております! (要予約制...ご希望される方は法人ホームページからお申込下さいませ。)

出来る喜び、一歩ずつ!

しょうしんかい 正真会 オープンキャンパス

必ず、道は見つかる。 私たちと一緒になら。

無料 声紋分析実施中!

“自分を知る” 6秒で声から個性がわかる

今月は 1月13日(木) 1月27日(木) 午前10:00~11:30

←ご予約はこちらから

大阪市障がい者就業・生活支援センター 精神障害者就業支援コーディネーター 高瀬 優子 様

<http://www.fukspo.org/sienc/>

色んな人たちと共に支える“おっきな力” 諦めず、続ける

関係機関様の「魅力びと」紹介

インタビュー 田中涼子が行く!

就労移行支援事業所「きょうばし」 就労支援員 田中涼子

大学で心理学を学び、卒業後は不登校の子どもたちの再登校支援をされていた高瀬さん。結婚後に大阪に入り、2005年、人のつながりで精神障害者就業支援コーディネーターに就かれました。就ポツ(就業・生活の「・(ぼつ)」を引用して略した通称)の対象となるのは市内居住で手帳をお持ちの方。難病の方も対象となります。主な業務はコーディネートやご相談です。幅広い方と接される高瀬さん。「やればやるほど、難しい問題に直面する」が、「本人も関わる者も諦めない事」「提案と葛藤を続ける事」が大事だと語られます。しかし就ポツは継続性が無いので、なかなか相手の全体像を理解するまでにはいかない模様。だからこそ、「日々本人と関わっている機関の人ときちんとやり取りをして、色んな人の中で一人の方を支える事が“おっきな力”となる」と、高瀬さんは続けました。私も本当にその通りだと感銘を受けました。

今回のインタビューを経て、改めて私も色んな方と繋がり、色んな可能性に出会えるようにしたいと思いました。第一線で支援をされている高瀬 優子さんのお話から、私自身が励まされ勉強になりました。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。ありがとうございました。